

2011-B					
拠出金・基金の名称:		国際水管理研究所拠出金			
種 別		イヤーマーク ノン・イヤーマーク			
拠出先の国際機関名: 国際農業研究協議グループ(CGIAR)/国際水管理研究所 (IWMI)					
【所管官庁担当局課・室名】: 農林水産省大臣官房国際部国際協力課					
【当該任意拠出金の目的・用途等】 我が国へも影響が顕在化してきている地球温暖化や砂漠化、水問題、森林減少等の地球規模での環境問題に対応し、持続的な農業用水の利用に資するため、次の事項を実施する。 ・農民参加型水管理導入支援プロジェクトの評価事例及び評価の将来構想についての資料収集、並びに課題の整理 ・農民参加型水管理導入支援プロジェクトの効果について、各国共通に適用可能な評価指標の検討 ・検討した評価指標について、モデル地区を対象とした適用性の検証 ・農民三期県水管理導入支援事業の効果についてのとりまとめ					
最近3年間の我が国支払額及びODA率					
単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千ドル)	外貨2 (千)	レ ー ト	ODA率(%)
平成23年度	21,560	242	-	1米ドル = 89円	100
平成22年度	23,708	252	-	1米ドル = 94円	100
平成21年度	25,978	252	-	1米ドル = 103円	100
【当該任意拠出金等の意義、成果等に関する我が国としての評価】 ・2008年には、IWMIの業績が傑出しているとして世界銀行から評価された。この評価は15のCGIAR傘下の研究センターのうち、IWMIを含む4機関にしか与えられていない。2010年には、CGIARが選ぶ最優秀研究者にIWMI職員が選ばれた。このような業績の評価から見ても、IWMIは水分野における国際的な専門研究機関として、重要な役割を果たしていると評価できる。 ・外部評価の継続的実施、業績評価の定着等により組織改革・組織運営改革を推進・進展させ、所要の見直しを実施している。2011年より、CGIARは研究テーマを絞って7つのメガプログラムを開始し、そのうちIWMIは水と土地利用のテーマについて取りまとめを行っている。					